

# 大豆技術情報 第3号

令和元年7月  
なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

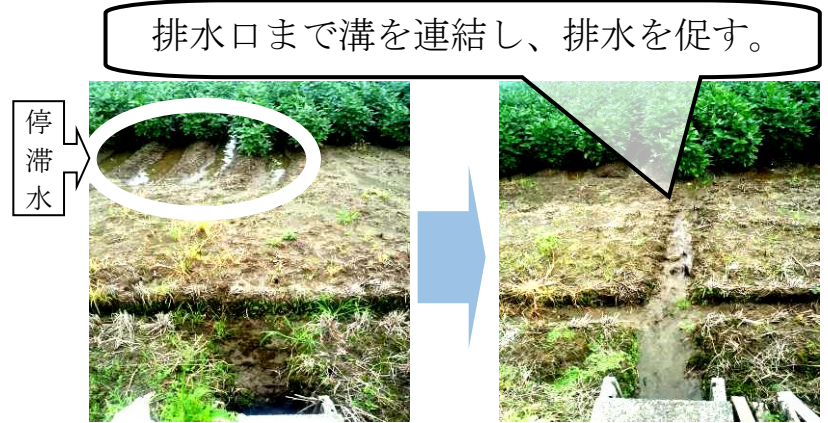
単収 200kg/10a 以上の確保、大粒比率向上に向けて

本年の大豆は、苗立ちが良好で概ね順調に生育していますが、降雨の影響で停滞水があるほ場も見られます。今後も**排水対策**を徹底するとともに、適切に**雑草や病害虫防除**を実施して生育量をしっかり確保し、品質・収量が高い大豆を目指しましょう。

## 1 排水対策

**2回目の培土がまだのほ場は、**土壤条件に応じて**すみやかに実施**しましょう。

培土作業でできた**溝と額縁排水溝は必ず連結**し、**ほ場に停滞水がないように**しましょう。



## 2 雑草防除

培土後に雑草が多い場合は、適切に除草剤を散布しましょう。

散布方法	雑草の種類	薬剤名	10a 当たり散布量	使用時期	使用回数
畦間・株間処理 (大豆にかけない)	1年生雑草	ロロックス(水和剤)	薬剤 100~200g 水 70~100L	・本葉3葉期以降 (雑草草丈 15cm 以下) 収穫 30 日前まで	1 回
		バスタ液剤	薬液 300~500ml 水 100~150L	・本葉5葉期以降雑草草丈生育期 収穫 28 日前まで	3 回以内

注：畦間処理の場合、吊り下げノズルを用い、薬剤が大豆にかからないように散布してください。

## 3 病害虫防除

ほ場を巡回し、病害虫の発生状況に応じ、速やかに防除を行いましょう。

	防除時期の目安	対象病害虫	薬剤名	10a 当たり散布量
随時	発生初期 (7月下旬~8月上旬)	葉焼病	Zボルドー	500 倍 150~300ℓ
随時	葉が巻き始めたら (7月下旬~8月上旬)	ウコンノメイガ (ハマキムシ)	サイアノックス粉剤 (収穫 7 日前まで)	4 kg
			プレバソフロアブル5 (収穫 7 日前まで)	4000 倍 150~300ℓ
基本 (1回目)	莢が伸びきった頃 (8月上旬~中旬)	紫斑病	Zボルドー粉剤 DL	3 kg
			ベルコートフロアブル (収穫 7 日前まで)	1000 倍 150~300ℓ
		カメムシが多い場合 紫斑病 カメムシ類	スミチオンベルコート粉剤 DL (収穫 2 1 日前まで)	3 kg
			ベルコートフロアブル + スミチオン乳剤 (収穫 2 1 日前まで)	1000 倍 150~300ℓ
基本 (2回目)	1回目の10~14日後 (8月中旬~下旬)	紫斑病 カメムシ類	Zボルドートレボン粉剤 DL (収穫 1 4 日前まで)	3~4 kg
			アミスタートレボン SE (収穫 1 4 日前まで)	1000 倍 100~400ℓ
随時	発生時 (8月中旬~9月上旬)	カメムシ類 フタスジヒメハムシ	ダントツH粉剤 DL (収穫 7 日前まで)	4 kg
			ダントツフロアブル (収穫 7 日前まで)	2500 倍 150~300ℓ

注：防除の際は、農薬使用基準を必ず守るとともに、風向き等に注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。

※トレボン剤の使用は、随時防除も含めて2回以内です。

## 4 畦間かん水

- 開花期から9月上旬までの水不足は、莢数や百粒重の確保に大きく影響します。3日以上晴天日が続いたら、土壤の乾き具合に応じ、**畦間かん水**を行いましょう。
- 畦間かん水は短時間で行い、ほ場全体に水が行き渡ったら水口をしっかり止め、**速やかに排水**してください。

カメムシ類の加害が著しいと莢数が少なくなり、青立ちが発生する場合があります。8月下旬~9月上旬頃にカメムシ類のほ場への侵入が多い場合は、随時に防除を行いましょう。



莢や子実を吸汁する

イチモンジカメムシ



カメムシによる青立ち